

令和7年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野	受験番号 examinee number						採 点
----------	------------------	--------	----------------	----------	-------------------------	--	--	--	--	--	--------

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 1 枚目)

次の①から④の条件に従い、以下の諸問題から計2問を選択して解答せよ。

- ① 問題番号（１から１８）に記載されている研究分野名を参照し、志望する研究分野の問題２問を選択すること。
- ② 問題番号（１から１８）ごとに１枚の別紙答案用紙（６枚目と７枚目）を用いて解答すること。問題用紙ならびに答案用紙はその全てに、志望する講座を○で囲み、研究分野と受験番号を記し、答案用紙には選択した問題番号を明記すること。
- ③ 複数の小問からなる問題を選択した場合には、解答ごとに最初に必ず小問の記号を記入すること。
- ④ 日本語または英語で解答すること。ただし、指定がある場合はその言語を使うこと。

1. (基礎心理学) 以下の2つの問いにそれぞれ答えよ。

- (a) 心理学実験では、刺激や条件を厳密に統制しようとする、実世界における自然な状況から離れていってしまうというジレンマがある。その具体例と対策について、自身の研究テーマと関連づけて説明せよ。
- (b) 生理心理学における3つの研究方法（破壊法、刺激法、記録法）について例を挙げて説明せよ。

2. (基礎心理学) 以下の3つの用語についてそれぞれ説明せよ。

- (a) 意味プライミング (semantic priming)
(b) ミスマッチ陰性電位 (mismatch negativity)
(c) 要求特性 (demand characteristics)

3. (応用認知心理学) 視覚ディスプレイを使用した作業を行っている時, どのような要因が作業の成績や使用感に影響を及ぼすかを, 何らかの具体的な作業を例示したうえで説明せよ。

4. (応用認知心理学) 以下の3つの用語についてそれぞれ説明せよ。

- (a) サイモン効果 (Simon effect)
(b) メタ認知 (metacognition)
(c) トップダウン処理 (top-down processing)

5. (社会心理学) 4枚目をみよ。

6. (社会心理学) 以下の5つの用語についてそれぞれ説明せよ。

- (a) システム正当化理論 (system justification theory)
- (b) 対応バイアス (correspondence bias)
- (c) 心理的リアクタンス (psychological reactance)
- (d) 偏相関 (partial correlation)
- (e) 囚人のジレンマ (prisoners' dilemma)

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number						採 点	
----------	------------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

（ 7 枚中の 2 枚目）

7. (臨床死生学・老年行動学) 5 枚目をみよ。See page 5.

8. (臨床死生学・老年行動学) 以下の 4 つの用語それぞれについて詳しく説明せよ。

Explain the following four terms in detail.

- (a) ポジティブ優位性 (positivity effect)
- (b) ソーシャルサポートの干渉効果 (buffering effect of the social support)
- (c) 老年的超越 (theory of gerotranscendence)
- (d) 聴覚機能における加齢の特徴 (characteristics of aging in auditory function)

9. (環境行動学) 以下の 3 問のうち 1 問に答えよ（選択した問の記号を記すこと）。

- (a) 「共有地の悲劇」について、具体例を挙げながら説明せよ。
- (b) 「伝統的な生態学的知識」について、具体例を挙げながら説明せよ。
- (c) 音の大きさの補充現象について、詳しく説明せよ。

10. (環境行動学) 以下の 3 問のうち 1 問に答えよ（選択した問の記号を記すこと）。

- (a) 「マイナーサブシステム」について、具体例を挙げながら説明せよ。
- (b) 「順応的管理」について、具体例を挙げながら説明せよ。
- (c) 騒音の回折効果について、詳しく説明せよ。

11. (安全行動学) リスクテイキングの発生プロセスを詳しく説明し、その効果的な抑止策について論じよ。

12. (安全行動学) 子どもの不慮の事故の現状を概説するとともに、事故につながる子どもの心理特性について詳しく説明せよ。

13. (行動統計科学) 以下の 5 つの用語について説明せよ。なお、数式や図表を使って答えてよい。

- (a) 相関係数 (correlation coefficient)
- (b) 最小二乗法 (least squares method)
- (c) 正定値行列 (positive definite matrix)
- (d) 赤池情報量規準 (Akaike information criterion: AIC)
- (e) 潜在的結果変数 (potential outcomes)

14. (行動統計科学) 主成分分析 (principal component analysis) もしくは因子分析 (factor analysis) のうち 1 つを選択し、そのモデルおよびパラメータ推定法について説明せよ。また、選択した方法の問題点を 1 つ指摘し、それを改善するための方策について論じよ。ただし、改善するための方策はすでに提案されているものでもよい。なお、数式や図表を用いて答えてよい。

15. (比較行動学) ヒト以外の動物における視覚、または聴覚に関する行動研究のトピックを 1 つあげ、その具体的な研究例について目的と手法、得られた結果を詳しく説明せよ。

16. (比較行動学) 霊長類の養育行動の特徴について、霊長類以外の動物と比較しながら詳しく説明せよ。

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number								採 点	
----------	------------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

（ 7 枚中の 3 枚目）

17. (認知行動工学) 以下の 5 つの用語それぞれについて詳しく説明せよ。

- (a) 健康信念モデル (health belief model)
- (b) リバタリアン・パターナリズム (libertarian paternalism)
- (c) 損失回避 (loss aversion)
- (d) 社会的認知理論 (social cognitive theory)
- (e) 実行機能 (executive function)

18. (認知行動工学) トランスセオレティカル・モデル (TTM) を用いた健康行動の変容に関する介入計画を立案せよ。その際、介入のターゲットとなる特定の集団と健康行動（ただし、乳がん検診・大腸がん検診・臓器提供意思表示は除く）を明確に定義し、TTM の主要概念を用いて対象者のセグメンテーションを行い、各セグメントに対する具体的かつ効果的な介入方法を提案するとともに、提案した介入の有効性を検証するための具体的な方法を説明すること。

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number							採 点	
----------	------------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

（ 7 枚中の 4 枚目）

5. (社会心理学) 次の英文を読み、以下の問いにそれぞれ答えよ。

（問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。）

出典：Brambilla, M. et al. (2019) Changing impressions: Moral character dominates impression updating. *Journal of Experimental Social Psychology* 82: 64-73. ただし原文の一部を改変した。

(a) 下線部を日本語に訳せ。

(b) 本文 1 行目の our hypothesis を確かめるための実験を考え、説明せよ。ただし、以下の 2 つの条件を満たすこと。

- ・仮説を明確にする。
- ・実験室実験に限定する。

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number							採 点	
----------	------------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 5 枚目)

7. (臨床死生学・老年行動学) 次の論文の要約を読み、以下の問いにそれぞれ答えよ。

Read the following abstract of a paper and answer the questions.

(問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。)

出典：Andel, R. et al. (2016) Effects of preretirement work complexity and postretirement leisure activity on cognitive aging. *The Journals of Gerontology: Series B* 71: 849-856.

(a) 本研究から明らかになったことを研究デザインとともに記述せよ。

Describe the findings from this study, together with the research design.

(b) cognitive disadvantage とは何を意味するのか説明せよ。

Explain the meaning of cognitive disadvantage in this paper.

(c) この研究が実施された背景にはどのような理論もしくは仮説が存在するのかを説明せよ。

Explain what theory or hypothesis underlies this research.

(7 枚中の 6 枚目)

問題 番号	
----------	--

解答 $\Rightarrow$

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

問題 番号	
----------	--

解答⇒